



グリーン交悠録

TPP、FTP—
外交の臨場感を伝えたい。

元通商産業審議官／元ジェトロ（日本貿易振興機構）理事長
国際貿易投資研究所理事長
畠山 襄 氏
本誌主幹 大中 吉一

官僚の質の低下が目に余る

大中 長らく通商産業省（現・経済産業省）に在籍されて、通商交渉の最前線で敏腕を振るつておられたが、現在の後輩官僚についてはどうのような感想をお持ちですか。

畠山 昨今の不祥事を見るにつけて、はどのようないい限りですが、質が悪くなつたというよりも、もともとロクな人材がいなかつたというのが本当のところです。

大中 なかなか手厳しいですね。でも優秀な人材もいたと思いますが。

畠山 ええ、もちろん中には気骨のある、素晴らしい方もありますが、基本的に面白くない輩だけです。

大中 どうしてなのでしょうね。

畠山 大学を出て社会に出る際に、いちばんが日本銀行、次に大蔵省（現・財務省）、そして通商産業省（現・経済産業省）、さらに文部省（現・文部科学省）という図式が出来上がつてしまつてるので、どうしても3番目以降は行き場のない人材という部分はあるのでしょうね。それでも「ここで日本のため

で入省する人材も居ます。そうした方たちは立派な仕事をしてくれていると思います。

大中 ご子息も、父親の跡を継いで経産省でご活躍されています。

畠山 ロンドンにいる頃でしたが、妻から息子が経産省に行きたいと言つていると連絡が参りました。

大中 賛成された。

畠山 まあ本人が決めたことです

から。

大中 先日お会いしましたが、なかなか気骨のある良い官僚になられましたと感じました。

畠山 気骨と言えば、通産省にも侍が居ました。かつて私が担当局長時代に西の主要国首脳会議（＝G7）とともに東のG7を作ろうという話になつたのです。

大中 東というと、ロシア、ポーランドやルーマニアなどですね。

畠山 ええ、それを外務省が大反対したのですが、板挟みになつた當時の担当課長の北村君が「やりましょう」と突っぱねてくれたのです。大中 それはなかなか気骨があり

畠山 彼がいなかつたら実現しなかつたでしょうね。

昨今は 麻雀を楽しんでいます

大中 ご趣味はありますか。

畠山 酒も煙草も嗜みません。昔はゴルフもやりましたが、最近はなかなかコースにも出ません。

大中 お体を悪くされたと伺いましたが。

畠山 パーキンソン病です。それでは「百獸（110）の王の会」「米（みずほ）会」、さらに「大平会」など様々なコンペに参加させていただきましたが、いまはもっぱら麻雀ですね。

大中 大平会は一時期ですが倫理規定の問題で休会していましたが、先輩後輩の交流の場としての懇親会と言つことで再開しました。

畠山 そうでしたか。

大中 ところが懇親会のはずが先輩後輩は別の組でラウンドする。交流会は会場である箱根仙石原のゴルフ場を離れて東京に帰つてからとにかくラウンドしたのにその余韻も冷めてしまうよ

うな状況です。

畠山 それは寂しい限りですね。

大中 麻雀はいかがですか。

畠山 基本的には家庭麻雀です。

最近は雀荘もありませんからね。

大中 たしかにそうですね。自分で積めば、ある程度はどこにどの牌があるか覚えていられます。昨今は全自動とやらで、勝手に牌を積んでしまいますから、記憶するという技術も使えませんね。

著書「経済統合の新世紀」

大中 数年前に本を出版されましたね。

畠山 集大成というわけでもないのですが、世界経済は20世紀最後の10年に入つたあたりから冷戦の終了とともに地球化（グローバライゼーション）が進行しました。共産主義経済が崩壊し、交通通信技術の飛躍的な発展、途上国の急成長などもあって、事実上は市場経済日本化されたと言えると思います。

大中 1994年の世界貿易機関（WTO）設立が端緒でしょうか。

畠山 ところが、全加盟国による通商交渉（ラウンド）は中断と再

開を繰り返し、事実上2013年のインドネシア・バリ会合まで機能不全に陥つてしましました。

大中 途上国と先進諸国の思惑が煩雑に絡み合つていました。

畠山 そうした世界経済の動向を、実際に通産省時代に、その一部にささやかながら係り合つた経験をご紹介するとともに、若干の提言を試みたものです。

大中 ご謙遜を。国別に事例がわかりやすく紹介されていて、さすが実務をご経験された方ならではの内容だと思います。

畠山 単に経済統合の理論や歴史的発展だけでなく、それぞれの経済統合にかかわった人々の感動、矜持、こだわり、驚き、交渉を通じて貫こうとした正義感などをできるだけ臨場感を持つてお伝えできたらと思って執筆しました。

大中 拝読すると現場の緊迫感のある空気が伝わってきます。

畠山 そう言つていただけると嬉しく思います。

大中 通産省ではどのようなポストを経験されたのですか。

畠山 貿易局長、通商政策局長、

通商産業審議官を歴任し、退官後4年間日本貿易振興会（＝JET）

R.O.現・日本貿易振興機構）の理事長を拝命しました。

大中 10年以上、世界の経済動向

の渦中におられたことになります。

大中 すべてではありませんが、そぞうした世界の動向に直接・間接にタッチし、その後も一般財團法人国際経済交流財團会長（現・一般財團法人国際経済交流財團理事長）として、世界の動向を注視してまいりました。

大中 そうしたご経験があればこそ著書ということです。

畠山 TPP（環太平洋経済連携協定）もようやく形になつてきましたが、我が国においては財政赤字

と社会福祉問題が深刻化を深め、いつ何時刻化を深め、いつ何時

キヤピタルフライトや年金不払いが起きるやも知れない状況も起ります。

大中 今日はありがとうございました。

畠山 日本国内のみならず、グローバルな視点から見れば、経済統合がそれだけにとどまつて良い時代は終わろうとしていると思いま

す。遠い将来の政治統合の時代の到来にも備えなければならぬと考えています。

大中 今日はありがとうございました。

畠山 この社会福祉問題は、年金と関連して格差拡大につながりかねませんし、基本的には人口減少のためにそれを補う以上の生産性が見られないと日本の経済は確実に沈むことになります。

大中 アベノミクスも日銀の低金利政策も具体的な成果は出ていません。

大中 アベノミクスも日銀の低金利政策も具体的な成果は出ていません。

畠山 日本国内のみならず、グローバルな視点から見れば、経済統合がそれだけにとどまつて良い時代は終わろうとしていると思いま

す。遠い将来の政治統合の時代の到来にも備えなければならぬと考えています。

大中 今日はありがとうございました。

畠山 この社会福祉問題は、年金と関連して格差拡大につながりかねませんし、基本的には人口減少のためにそれを補う以上の生産性が見られないと日本の経済は確実に沈むことになります。

大中 10年以上、世界の経済動向

の渦中におられたことになります。

大中 すべてではありませんが、そぞうした世界の動向に直接・間接にタッチし、その後も一般財團法人国際経済交流財團会長（現・一般財團法人国際経済交流財團理事長）として、世界の動向を注視してまいりました。

大中 そうしたご経験があればこそ著書ということです。

畠山 TPP（環太平洋経済連携協定）もようやく形になつてきましたが、我が国においては財政赤字

と社会福祉問題が深刻化を深め、いつ何時刻化を深め、いつ何時

キヤピタルフライトや年金不払いが起きるやも知れない状況も起ります。

